

グローバル化をめぐるこれだけの誤解② —身近な暮らしの中で進行するグローバル化

福田 佳之
東レ経営研究所 産業経済調査部
シニアエコノミスト
TEL : 047-350-6173
E-mail : Yoshiyuki_Fukuda@tbr.toray.co.jp

＜ポイント＞

- 身近な暮らしの中で進行するグローバル化の事例として、①清酒の輸出、②絵本の輸入、③バラの輸入、の三点の事例を取り上げ解説する。

はじめに

前作の「グローバル化をめぐるこれだけの誤解①－米国における反グローバルな動きについて考える」の中で、日本はグローバル化の恩恵を享受してきたと述べた。

と言っても、一般の読者にとっては（筆者も含めてだが）、日本が享受しているグローバル化の恩恵についてピンとこない方が大半であろう。そこで、以下では、グローバル化の恩恵を身近に感じてもらうために、近年の①清酒の輸出、②絵本の輸入、そして③バラの輸入を事例として取り上げて解説したい。

①SAKEは日本食レストランで大人気

日本国内ではビールや焼酎に押されてすたれ気味の清酒だが、目を海外に転じると、どこい清酒の先進国向け輸出は好調なのだ。

2006年の数量ベースの輸出は前年比7.7%増の10,269キロリットルと5年連続の増加となっており、金額ベースで見ても前年比14.4%増の61.1億円と7年連続の増加となった（[図表1](#)）。輸出先（金額ベース）を見ると、米国向けがその過半を占め、次いで台湾、香港の順となっている。

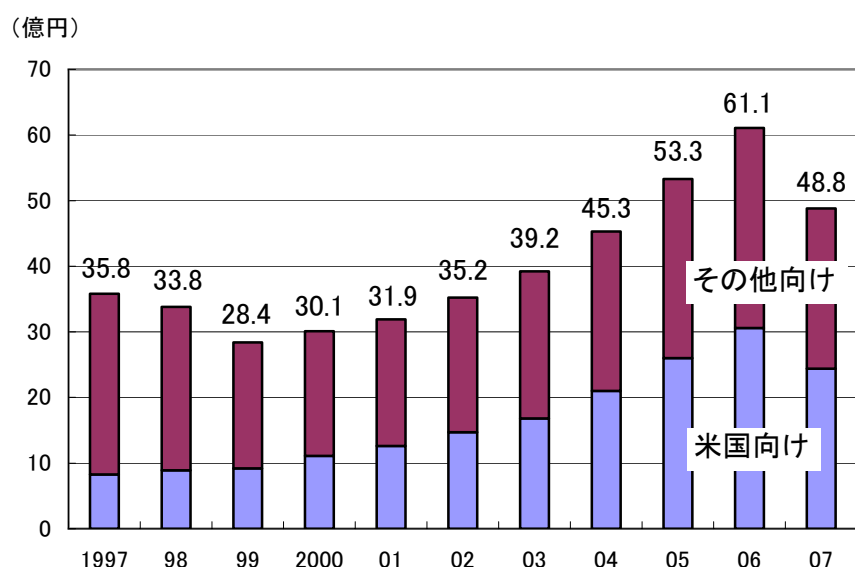
特に、米国向けが近年伸ばしており、その背景には、現地の高級レストランでの高価な清酒、例えば「純米吟醸酒」や「純米大吟醸種」への需要が高まっている。実際、食事中に飲んだり、料理に合わせて飲んだりするなどワインと共通点があることから、米国では清酒は高級ワインと同じ扱いを受けるまでブランドが向上している。

また、中小の蔵元が清酒をSAKEとして世界に広めようと販路開拓の地味な努力を続けてきたことも輸出好調を支えている。日本のSAKEは米国で着実に根付いている。

②いやし求めて若い女性が絵本を購入

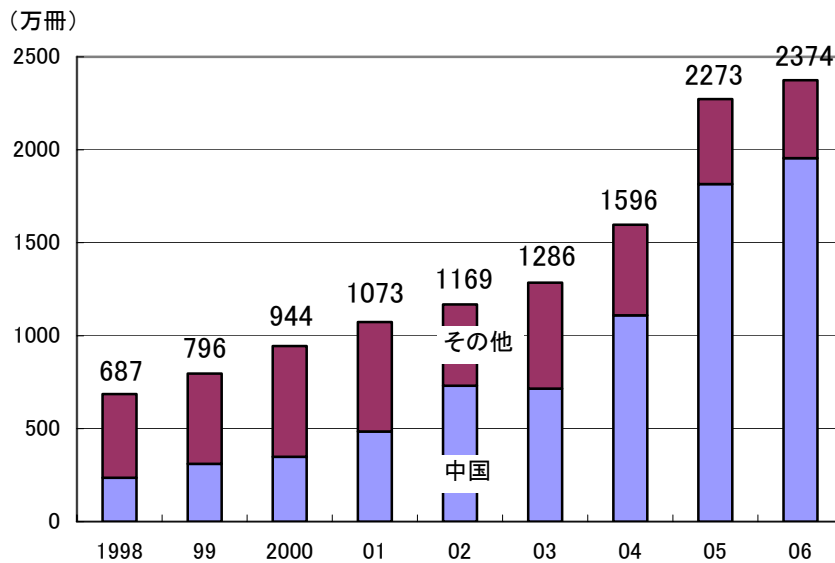
近年、少子高齢化や若年層を中心とした活字離れを背景として、出版物の市場は縮小傾向

図表1 清酒の輸出の推移



(注)2007年は1-9月の累計
(出所)大阪税関資料

図表2 絵本輸入の推移



(出所)東京税関資料

である。当然ながら子供が読む絵本もそのあおりを受けて販売不振と思いきや、実は絵本市場は輸入を中心に拡大しているから驚きだ。

2006年の絵本の輸入冊数は前年比4.4%増の2374万冊となり、6年連続で過去最高を更新し、輸入金額も同11.7%増の45.6億円とこちらも5年連続で過去最高を更新している(図表2)。一方、国内の発行数は1100~1200万冊台と横ばいで推移しており、輸入冊数の半分程度にとどまっている。

絵本輸入の増加には、若い女性が癒しを求めて購入していることや子供の親が海外の絵本を幼児用の英語教材として求めていることが挙げられる。また、絵本から立体物や音などが出てくる「しかけ絵本」が人気であり、その制作や製本に人件費の安い中国などアジア諸国が使われているとのことだ。

実際、絵本輸入冊数の8割は中国からとなっており、絵本市場においても中国の存在の大きさが伺われよう。

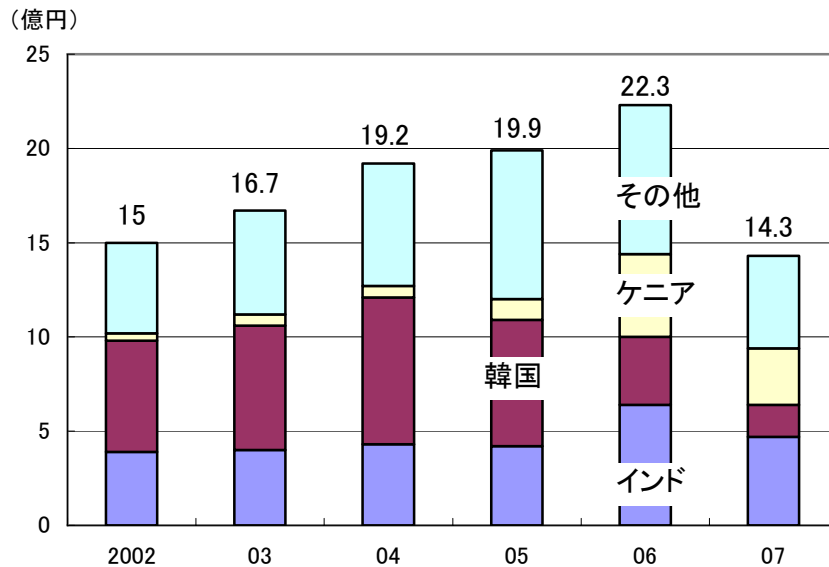
③あなたが手にするそのバラはケニア産?

洋の東西を問わず、花束を贈られるのは嬉しいもの。特に、バラの花束は美しい上に香りが高くとても喜ばれる。そのバラの輸入が近年増加している。2006年の輸入量は前年比20.5%増の4020トン、輸入額は前年比12.3%増の22.4億円と数量、金額ともに過去最高となった。

輸入先を見ると、インド、韓国、オランダが主要相手国となっているが、近年ケニアからの輸入が増えている(図表3)。ケニアのバラ農場は赤道直下の高地にあってバラ栽培に適していると言われている。またケニア産のバラは色が鮮やかで大きく花持ちがよいために人気があるが、輸入拡大の理由はそれだけではない。

実は、ケニアからのバラ輸入には、ドバイー関西空港直行便が設定されたことが寄与していると言われている。ケニアのナイロビから関西空港までの輸送はドバイを経由することで18時間程度に短縮し、輸入されたバラは新鮮さを保ったままで日本国内に発送すること

図表3 バラの輸入の推移



(注)2007年は1-9月の累計
(出所)大阪税関資料

ができるようになった。またドバイで2005年に世界最大規模の花専用の低温物流施設が整備されたことも大きいとされている。

今後も、日本の家庭でのバラ需要が高まるにつれて、ケニアの大きく色鮮やかなバラの輸入は増えると言われ、私たちの身の回りを美しく飾り、心に潤いを与えてくれるであろう。

まとめにかえて

グローバル化が進行し、外国との交易が活発化したことで、高機能な絵本や生活に潤いをもたらすバラを手ごろな価格で入手できるようになった。

一方、グローバル化によって一部の国内産業が衰退し、産業が空洞化することを憂う声もある。だが、そのような産業でも知恵を使い努力を積み重ねることを怠らなければ、世界の市場を目指すことで活路が開けることは清酒の事例からも明らかだ。我々は決してグローバル化の恩恵を忘れてはならないであろう。

<出所>

- ・ 2007年3月26日付大阪税関資料
- ・ 2007年3月28日付東京税関資料
- ・ 2007年5月30日付大阪税関資料
- ・ 2007年7月15日付日本経済新聞
- ・ 2007年10月13日付朝日新聞

(ご注意)

- ・当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、東レ経営研究所はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。
- ・当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。当資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰するものといたします。